

教育目標を解釈する

校長 伴 光明

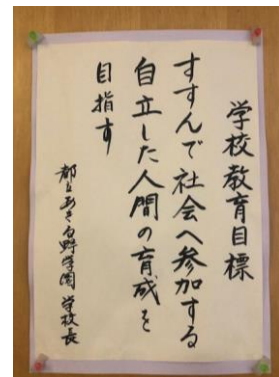
「すすんで社会へ参加する自立した人間の育成を目指す」

この一文は、あきる野学園の学校教育目標です。

開校当初に能瀬廉英初代校長先生が示された基本の文言を、その後の実践研究を通じて推敲し、現在まで定着してきたものです。今でも校長室には、渡理紀正第二代校長先生の書が掲げられています。短い文章ですが、深い意味が込められています。

冒頭は、参加の形はさまざまあれども、「すすんで」社会に参加しようという姿勢に力点を置いています。主体的であれ、という願いです。参加とは「かかわりあい」と言い換えることもできます。人や社会と豊かにかかわりあう。そのために外界に対しての個人が確立していくことが重要。個の確立を自立と捉え、目標としているのです。もちろん自立した人間像とは、障害の有無や軽重にはなんら関係ありません。働く・休む・学ぶ・遊ぶ・食べる・飲む、等々の生活上の活動に「すすんで」臨むことが、よりよく生きようとする姿勢であり、自立への道であると思います。

児童・生徒はみなより良い自分になろうと懸命です。学校はそんな児童・生徒たちを一人の人間として敬い、認め、伸ばす指導を行き届かせ、教育目標の実現に向けて真摯に務めてまいります。



新しい一歩

副校長 落合 隆一

令和5年度が始まり1か月がたちました。緊張や不安そうな表情も見られたスタートでしたが、日を追うごとに、安心した表情、活発な笑顔などがあふれるようになりました。変化を感じ、戸惑いつつも、新しい環境を受け止め、新しい自分の力にして過ごしている様子を見て、あらためて、児童・生徒のもつ力を感じています。

これまでの学習で積み重ねてきたものが、新しい人、新しい環境、新しい体験との出会いによって、更なる成長に向けた土台として幅を広げていきます。変化は成長の触媒となって育ちを支えていますので、保護者の皆様が不安に感じることもあるかと思いますが、子どもたちを温かく見守っていただければと思います。

今後の学校生活に関する事項として、感染症対策については、国や都の方針に基づき、年度途中での対応の変更も予想されます。宿泊行事等の児童・生徒への対応はもちろん、授業参観や学校行事において保護者の皆様が来校される際の対応についても、今後、提供させていただく情報をご確認いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

また、校舎増築工事につきましても、随時進捗状況などを伝えさせていただき、学校生活に不安の無いよう取り組んでまいります。今年度も本校教育活動へのご理解、ご協力のほど、どうぞ、よろしく願いいたします。